

## ● 平成31年度市老協合同入職式

去る4月6日、ロームシアター京都 サウスホールにおいて、当会主催の「合同入職式」を開催致しました。

この合同入職式は、新入職員のモチベーションを高め、各施設間の連携を深めることなどにより、離職防止と定着促進を図ることを目的に平成28年度から執り行っており、今年で4回目となります。会員施設の平成31年度新規採用者と平成30年度中途採用者を合わせて入職者201名、行政や学校関係者などのご来賓14名、入職者ご家族や施設職員等関係者85名、計300名が一堂に会し、入職者へのお祝いと激励の場とさせて頂くことができました。

山岸会長の開会挨拶に続いて、後援していただいた京都市の門川大作市長、花園大学 教授 福富 昌城氏よりご祝辞をいただき、社会福祉法人美郷会の小松 勇介さんと、社会福祉法人勸修福社会の道嶋 玲奈さんから、入職者を代表してお礼の挨拶をいたしました。

その後は、突然の障害と向き合い、気管切開をされたにもかかわらず、前例がなければつくればいとスピーチカニューレで歌われる声楽家 青野浩美さんの感動的な記念講演に、多くの参加者が感銘を受けました。

そして、市老協会員施設職員で編成されたコーラス隊が、「365日の紙飛行機」や、シンガーソングライターの堀内圭三さんに作詞作曲していただいた歌「ハートメッセンジャー」などを堀内さんと一緒に合唱し、河合副会長の閉会挨拶でお開きとなりました。

写真は、門川大作京都市長、福富昌城氏から熱い激励のお言葉を頂いたあと、記念撮影させて頂いた際のものであります。門川市長をはじめ、ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。